

一般調査報告書

ベイエリアで日本の大学関係者が国際産学官連携について協議

1月10日、11日シリコンバレーのサンタクララにて、日本の大学関係者によるイベントが開催されました。主催者は、サンフランシスコベイエリアに拠点を有する日本の大学間連携ネットワークである JUNBA (Japanese University Network in the Bay Area)。昨年に続き2回目となった同イベントでは、国際産学官連携をテーマに、JUNBA メンバーによる「サミット」、一般公開の「シンポジウム」、日本の15大学のブース出展による「テクノロジーフェア」が行われました。今回は、このイベントから窺えた日本の大学における国際産学連携の現状及び米国での取組みを報告します。

< 「JUNBA2008」 概要 >

第一部の「JUNBA サミット」では、JUNBA メンバーの大学及び関連機関が国際的な産学官連携を推進するための戦略について幅広く議論。各大学からの取組み事例報告のほか、産学官連携を全学的に効率良く行うためには、どのような戦略の下に知的財産を活用していくのか、大学本来の使命である教育と研究の基本とどう関連付けていくのか、さらに、各大学の起業実績と今後の見通しなど、2025年をターゲットにした各大学の国際産学官連携戦略について議論が行われています。

続いて第二部の「JUNBA 国際産学官連携シンポジウム」では、日本の文部科学省、日米の大学および米国企業の代表よりそれぞれ国際産学官連携についての講演、意見交換が行われました。

翌日の第三部「JUNBA 国際産学官連携テクノロジーフェア」では、産学官連携を念頭に各大学が紹介したい技術の発表を行いました。日本の15大学がブース展示、うち13大学がプレゼンテーションを実施しました。

サンフランシスコベイエリアに拠点を構える日本の大学

名称	所在地	開設年
法政大学アメリカ研究所	バーリングゲーム	2000年
大阪大学サンフランシスコ教育研究センター	サンフランシスコ	2004年
鹿児島大学シリコンバレーオフィス	ロスガトス	2004年
九州大学カリフォルニアオフィス	ロスガトス	2005年
東北大米国代表事務所	ロスアルトス	2006年
東京理科大学サンフランシスコ事務所	バークレー	2007年
横浜市立大学カリフォルニアオフィス	サンタクララ	2007年

< 日本の大学からも関心集める JUNBA の取組み、高まる国際産学官連携ニーズ >

今回のイベントの特徴的な点としては、「テクノロジーフェア」の実施とともに、同フェアへの JUNBA 非メンバーの9大学が日本から参加していることがあげられます。

これらの大学の参加は、文部科学省の国際産学官連携推進への積極的な支援によるところが大きいようで、同省の「国際的な産学官連携の推進体制整備」や「特色ある国際的な産学官連携の推進機能支援プログラム」、日本学術振興会の「大学国際戦略本部強化事業」に採択された大学に参加を呼びかけた結果実現したものです。

とは言え課題も見受けられました。今後このイベントを継続発展させていくうえで

は、いかに多くの米国の大学関係者、米国のビジネス関係者の出席を得られマッチングに結び付けられるか、そして、この場から実際どのような国際産学官連携が生まれるのか。それにより、今後日本からの同イベントへの参加も、バイエリアへの進出も異なってくるものと思われます。



出展大学ブース風景

< ネットワークの活用か、独自性の発揮か、より求められる連携成果 >

今回日本から参加した大学で、まだ米国に事務所を持っていない大学のいくつかに、米国での拠点設置について尋ねてみたところ、いずれも設置を検討しているとの返事でした。そして米国拠点設置で先行する大学以上に、より国際産学官連携に特化し成果のあがるような事務所形態を検討している印象を受けました。

これは、大学の国際化、学生間の交流支援といった初期の設置目的から、大学を取り巻く環境の変化に伴い、大学に対して産学連携の成果がより求められるようになっていることの表れかと思えます。

JUNBA は、ひとつの大学ではやれないことを、バイエリアへ進出している大学間で連携し今回のようなイベントを開催できるまでに発展してきました。今後米国拠点を設置するにあたって、日本の大学拠点が集積しネットワークが構築されつつあるバイエリアに進出するメリットは確かにあるかと思えます。

しかし、今後は、いかに JUNBA の取組みから国際産学官連携の実績をあげ成果を示すことができるかが鍵となり、それによってバイエリアに拠点を構える大学が増えるのか、それとも、大学ごと独自に米国の大学との連携を縁に、個別の戦略で進出地を考えることになるのか、分かれるのではないのでしょうか。

今回、地元の名古屋大学もブース出展で参加していましたので大学事務局の方に話を伺いました。同大学は今年度、東海岸のノースカロライナ州に事務所を開設し、3月にはオープニングセミナーを開催するとのことでした。なぜノースカロライナなのか。その独自の戦略性は、また別の機会に紹介したいと思います。